

2025年8月5日

各 位

会 社 名 東 京 イ ン キ 株 式 会 社
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 堀 川 聡
 （コード番号 4635 東証スタンダード市場）
 問合せ先 取 締 役 ・ 常 務 執 行 役 員
 管理部門長、IR 統括 中村 真次
 （TEL. 03-5902-7652）

2026年3月期第2四半期（中間期）及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）及び通期（2025年4月1日～2026年3月31日）の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 22,800	百万円 550	百万円 630	百万円 510	円 銭 200.39
今回修正予想（B）	24,100	1,060	1,150	800	314.31
増減額（B－A）	1,300	510	520	290	
増減率（％）	5.7	92.7	82.5	56.9	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2025年3月期第2四半期）	22,257	267	290	304	114.60

2. 2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 46,000	百万円 1,300	百万円 1,450	百万円 1,300	円 銭 512.19
今回修正予想（B）	47,300	1,800	1,950	1,800	709.10
増減額（B－A）	1,300	500	500	500	
増減率（％）	2.8	38.5	34.5	38.5	
（ご参考）前期通期実績 （2025年3月期）	46,806	1,309	705	1,180	444.91

3. 修正の理由

第1四半期において、インキ事業ではオフセットインキにおけるオフセット輪転インキ等の主力製品や、グラビアインキにおける機能性インキ・コート剤および医薬包装向け製品が堅調に推移し、化成品事業では日本国内の機能性包材用途向け製品および自動車用途向け製品、ASEAN 地域のモビリティ用途向け製品および機能性包材用途向け製品が伸長し、両事業ともに計画を上回る水準で推移しました。加工品事業につきましては、土木資材の堅調な需要に支えられ、概ね計画通りに推移しました。その結果、第1四半期の業績は売上高の増加に加えて、利益面で計画を大きく上回る水準となりました。

さらに、第2四半期においてもインキ事業および化成品事業を中心に堅調な需要が継続する見通しであることから、当社は第2四半期（中間期）連結業績予想を上方修正することといたしました。

通期連結業績予想につきましては、米国との相互関税の影響、為替変動、地政学リスクに伴う原料価格動向等、依然として不透明な要素が多く残されており、また下期には化成品事業において低収益製品の整理を本格的に取り組むことにより、生産ラインの再構築や在庫調整等に伴い、一時的に売上高および利益が減少する可能性があります。第2四半期（中間期）における業績の上方修正分を勘案し、売上高および各利益項目において、前回発表予想を上回る見通しであります。

なお、8月7日より適用が予定される米国との相互関税については、当社の主力である国内マーケットへの直接的な影響は限定的と見込んでおりますが、自動車業界を中心とした輸出産業への間接的な影響が懸念されます。特に、自動車メーカーの米国向け輸出においては、輸出減少に伴う生産調整など、一定の影響が生じる可能性があります。現時点では不確実性が高く、今回の業績予想には織り込んでおりません。当社としては、今後の政策動向や経済情勢の変化を注視しつつ、必要に応じて対応してまいります。

（業績等の予想に関する注意事項）

業績予想に関しては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上